

「今年のにほんごコンテスト2019」
入賞作品一覧

□一般の部

(順不同・敬称略)

別	今年のにほんご	応募者名	住所	理由
1席	たまゆら (玉響)	田嶋 純子	石川県加賀市	勾玉同士が触れ合う (ほんの一瞬、かすか、はかなさの意味ですが宇宙の中の魂のふれあいの様に命の美しさを感じる日本語です。
2席	あてやか(貴やか)	福井 勲	兵庫県姫路市	山代温泉を散策していると、色とりどりのゆかたに帯、湯籠を持った女性に出会います。「あてやか」、いえ、そのさまは、上品で気品のある「あてやか(貴やか)」のことがびったりです。
	花筏	萬谷 和子	石川県加賀市	春になると、桜の花びらが川一面に浮かぶ様子が感動的で思い出される
	花笑み	蔦 弥生	広島県広島市	「咲いた花のような、華やかな笑顔」。以前、この言葉をみかけて意味を知った時、ただただ素直に素敵だな、と思いました。なかなか笑えないことも多いけど、でもやっぱり笑顔は最強で、大切な人達と笑顔でいることを何よりも大切だと思っているので、この言葉を選びました。
3席	暁 あかつき	倉田 亜由美	埼玉県東松山市	様々な困難を乗り越えた日本平成の今の景色から
	あらたまの	岡倉 千枝子	福井県坂井市	今年は改元という大きなものに向かい心も年も新玉のという感じです。年、月、日、夜、春にかかる枕言葉でもあり、宇宙の平和や地球の平和も望みます。温泉に入れるのも平和だからこそです。
	円か	山本 睦子	石川県加賀市	優しさを包み込む言葉です。争いごとがあっても穏便に円くなって話し合う世の中に。
	まほろば	蘇芳 夏生	福島県いわき市	まほろばは、日本武尊の「倭は国の真秀ろば 量なづく青垣 山隠れる 倭し美し」という歌に詠まれています。「やまとはくにまほろば」と表現されているように、まほろばには「すばらしい場所」、「住みやすい場所」という意味があります。まほろばは、私たち一人ひとりにとって、いま住んでいる場所であり、故郷であり、私たちの国、日本そのものです。日本が、いつまでも歴史に彩られたまほろばの国でありますように。
	まろやか (円やか)	熊田 信幸	石川県白山市	滑らかで 穏やかなさま 円満なさま
特別賞	暁(あかつき)	平野 史夏		
	あかつき (暁)	熊田 信幸		
	花笑み	細江 隆一		
	花笑み (はなえみ)	神 亜莉沙		
	あずましい	鎌田 誠		
	醸す	藤岡 昭		
	まほろば	川端 正明		
	まほろば	山崎 晃子		
	円やか	大井 英幸		
	たまゆら	小畑 和裕		
	たまゆら	村田 千賀子		
	たまゆら	藤田 隆義		
	玉響(たまゆら)	長野 芳成		
	玉響『たまゆら』	坪野 晶子		
	あやなす(綾なす)	柿沼 雅美		
	幸ふ(さきわう)	十石 和子		
	幸ふ(さきわう)	田中 アヤコ		
	鶯々(あいあい)	石崎 勝子		
	あらたまの	本間 政人		
	藍より青く	安藤 英房		
	甘雨	大窪 誠一郎		
	だいじょうぶ(大丈夫)	下山 尚之		
	春はあけぼの	星 真衣子		
	燦然(さんぜん)	安藤 碧美		
	安寧	星 香弥乃		
	安寧	西原 悦郎		
	安寧	中上 安妃子		
	安寧(あんねい)	納谷 典子		
	明らめる(あきらめる)	坂口 由紀		
	たおやか	甘池 英子		
	たおやか	乙部 朋子		
	たおやか	榊原 みずほ		
	たおやか	渡辺 廣之		
	たおやか	鎌田 誠		
	たおやか	佐々木美知子		
	たおやか	熊崎 節子		
たおやか	大窪誠一郎			
たおやか	佐藤 祐子			
たおやか	宮内 宏高			
たおやか「翹」	辻川 定男アルジャンチエル			
愛しい(かなしい)	鹿又 良枝			
かんばしい「芳しい」	進藤 恒男			
はなむけ	涌井 悦子			
はなむけ	中嶋あゆ美			
はなむけ「錢」	大和 泉			

□中学生以下の部

(順不同・敬称略)

別	今年のほんご	応募者名	理由
1席	山笑う	中立 侑汰	長い冬が終わり、草や木やいっせいに芽を出しはじめ、虫などがいっせいにでてきた時期。春を示すのはやっぱり山。冬の山は雪。春の山は明るく、まぶしい。その山を見ると僕は安心します。山は季節によってかわります。山笑ってるのを守りたいので僕は自然をきれいにするボランティアに参加したいです。
2席	さしのべる手	中西 水希	今は自分のことしか考えない人が多いからそういう気持ちが大それたと思うから。
	まごころ	上原 美桜	今年もお母さんのまごころがこもったごはんを食べられることに感謝したいので今年のほんごは「まごころ」です。
	松手入 (まつていれ)	大杉 翼	正月を控え、秋のうちに、枝を落とし葉を丹念に摘んでいく松の手入れのことを「松手入」という。青々と散り敷いた松葉の匂ふ中で見上げる松は、軽々とした姿になることから、秋は新年が始まる前なので苦や後悔を捨て、すがすがしい新年を迎えるということと同じだと思った。今年の秋はまだ先だが、この松のようにすがすがしい新年を迎える準備をしないとけない。そして新年を迎えたら、気持ちの良い声で、「あけましておめでとございます」と言えるような年にしていきたい。
3席	「また明日。」	松木 日向莉	「また明日。」普段私たちが何気なく使う言葉。私は、ある本を読んでこの言葉に込められた意味を改めて理解することができた。また明日という言葉は、また明日会おうね、という意味だけではなく、明日も懸命に生きようという意味も込められていると思う。明日生きているかは誰にも予想できない。そんな明日を懸命に生きようと励ますのがまた明日という言葉の本当の意味ではないだろうか。
	当たり前が出来る人	佐藤 乃々香	私が今年一番大切にしたい言葉は「当たり前が出来る人」です。私が小学生の時仲の良い友達が乃々香って当たり前のこと出来る？と聞いてきて私は出来るし。と答えました。すると、じゃあ、習い事とかずる休みしたり、学校の中で鬼ごっこかしたりしたことない？と聞かれ、当たり前のことを当たり前出来る人はすごいと思うようになりました。なので今年のテーマは当たり前が出来る人で行きたいと思いました。
	かたい子やね	坪野 蒼那	おばあちゃんの家に行ったときに、おばあちゃんに言われて、とっとうれしかったから。
	かわいや	北村 葉奈	私の友達は小さい頃、転んで泣いていたときによく、おばあちゃんに、「かわいや、かわいや」と言われていたそうです。そのたびにその友達はうれしかったと言っていました。どうして、と聞くと「だって、かわいいかわいい、とはげましてくれたから。」と答えました。私がこの言葉を使われるのは、何かつらいことや悲しいことがあったときでした。わたしは、「かわいや」はあまり良い言葉だと思っていませんでした。悲しいときに使われたその言葉を使うのにいつも少しためらっていました。しかし、友達の話を聞き、なんだか、とっつもあたたかくなりました。みんながみんな、友達のように感じるわけじゃないけれど、方言だからこそとらえられる何かを見つけられた気がして、とっとうれしくなりました。
	やりとげる	関 ころろ	私は、陸上部に所属していて専門で中距離しています。でも、いつも途中で力尽きてしまい、良いタイムが出ません。なので今年の一年は、最後までやりとげることを大切にいきます。そして、大会などで、良い成績を残せるようにがんばりたいです。
特別賞	温かいやさしさ	坂本 亜美	
	たから	日宇 晴雅	
	たから	至当 つかさ	
	真っ直ぐに堂々と生きる	綿谷 佳雅里	
	まほうの言葉はありがとう、つかえばみんなが笑顔になる。	岡山 笑鈴	
	あじみ	三田 萌	
	あきらめないところ	長曾 隼大	
	幸 (さち)	平田 陽愛	
	鱈缶	柵木 三奈	
	大切	篠宮 葉己	
	大切	永井 悠嗣	
	たいせつ	田中 舜士	